

役員選任に係る透明性の確保について

1. 一般財団法人 日本航路標識協会は、役員の人選に当たり、透明性、客観性を確保するために、有識者による「役員候補者選考委員会」を設置しています。

今回、令和7年6月13日開催した同委員会において、常勤の理事候補者2名を選考し、同日開催した令和7年定時評議員会へ推薦しました。

同評議員会では、全員異議なく同候補者を理事に選任することを承認しました。

2. 令和7年定時評議員会で選任された次の理事が、第35回理事会において専務理事に選定されました。

氏 名 粟井 次雄

年 齢 63歳

就任年月日 令和7年6月13日

前 職 海上保安庁国際戦略本部顧問

選考理由

粟井 次雄氏は、これまで海上保安庁において、総務部参事官、国際戦略本部顧問などを歴任され、特に国際分野においてその手腕を発揮し、国際海事機関（IMO）海上安全部での勤務をはじめ、令和3年よりIALA 理事としてIALAの活動に貢献し、業務運営の円滑な推進にその手腕を発揮してきた。

また、令和7年2月からIALA-WWA 理事に就任している。

これらの手腕は、当協会の健全な業務運営を推進していくうえで必要不可欠なものであり、当協会の専務理事として大いに期待できる。

また、同じく次の理事が常務理事に選定されました。

氏 名 佐々木 忠男

年 齢 69歳

就任年月日 令和7年6月13日

前 職 一般財団法人 日本航路標識協会 事業部長

選考理由

佐々木 忠男氏は、平成29年6月から日本航路標識協会の事業部長、令和3年6月から事業部長としての業務に加え常務理事として、当協会業務運営の円滑な推進にその手腕を発揮してきた。

これらの手腕は、これからの当協会の健全な運営を推進していく上で必要不可欠なものであり、当協会の常務理事として大いに期待できる。